

2021年9月24日

各 位

株式会社 みなと銀行

**環境省利子補給事業『令和3年度地域ESG融資促進利子補給事業』
指定金融機関への採択 および「ESG融資」の目標設定について**

関西みらいフィナンシャルグループの みなと銀行（社長 武市 寿一）では、環境省が開始した「令和3年度地域ESG融資促進利子補給事業」に下記の通り採択され、併せて自社独自のESG融資（※1）目標を設定しましたのでお知らせいたします。

当社グループは2019年4月、「2030年SDGs達成に向けたコミットメント（関西みらいSustainability Challenge 2030）」を制定。また、2020年5月、「2030年SDGs達成に向けた、「2020年度SDGsアクションプラン」を公表し、そのテーマの一つである地球温暖化や自然環境汚染へ、各種金融商品・サービスを通じた取組みを強化しています。



今回の取組は、そのテーマに沿い、当社はお客さまに経済的メリット（利子補給）を還元しながら、ESGの考え方について対話を深め、ともに地域の持続的な発展に取組んでいけるものと捉えています。

みなと銀行は、今後も地域の皆さまへの様々な金融・情報サービスの提供を通じて、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

（※1）持続的な社会を実現するため、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）を考慮した融資のこと

記

1. 地域ESG融資促進利子補給事業

(1) 利子補給対象融資

CO2削減効果の高い再エネ・省エネ設備投資に対する融資を対象に、年率1%を上限に最大3年間利子補給を実施します。

(2) 主な事業要件（全て満たすこと）

①地域循環共生圏（※2）の創出に資するESG融資であること

②地球温暖化対策のための設備投資に対する融資であること

③融資先事業者が自らの二酸化炭素排出量を算定していること

④貸出実行期限は2022年2月10日（国の予算事業であり予算消化時点で取扱終了）

（※2）「地域循環共生圏とは？」地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方

(3) 利子補給内容

①利子補給率 : 最大1%（※3）

②利子補給期間 : 最大3年間

③利子補給金支払 : 年2回

④交付対象融資額 : 最大10億円

(※3) 利子補給率は1%を最大とし、利子補給後の実質融資利率が0.3%を下回らないこと

2. ESG融資目標

上記1. 利子補給対象融資を含め、2021年度の「環境要素を含むESG融資目標」(※4)を年間110件とし、ESG経営普及促進と環境分野への投資支援・促進に取り組めます。

(※4)「環境要素を含むESG融資目標とは？」資金使途が地球温暖化対策に資する融資、または地球温暖化に資する取り組みを行っている先への融資(私募債含む)の目標額

3. その他

地域ESG融資促進利子補給事業の詳細は、一般社団法人環境パートナーシップ会議のホームページを参照して下さい。(<https://epc.or.jp>)

以上

SDGsとは? Sustainable Development Goals

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

